

コンビニに
行くように
夜間に受診して
いませんか？



救急車は
タクシーでは
ありません。

妊娠したら
ご自分と赤ちゃんのために
「妊婦健診」を
受けましょう



みんなで考える
未来につなげる
千葉の医療

メインテーマ 退院後を支えてこそ～医療連携から地域連携へ～

第一部 各分科会

1) 10:00～10:55 2) 11:00～12:00 3) 10:00～12:00

- 1) 薬剤師／看護職／栄養士
- 2) リハビリテーション職／医療ソーシャルワーカー
- 3) 実践！模擬多職種退院カンファレンス（症例検討会）
- 4) 医療・福祉職とケアマネジャー対象の研修会

第二部 講演 1、2・特別講演・分科会報告

5) 13:00～14:00 6) 14:00～15:25 7) 15:30～16:20

5) 講演 1、2

『共用連携パスから地域包括ケアを見据えて』

6) 特別講演

『地域包括ケアシステムにおけるリハビリテーションの役割』

7) 分科会報告

第6回 千葉県脳卒 連携の中 の会

開催日時
平成27年2月8日（日）
10：00～16：30

場所
アパホテル&リゾート〈東京ベイ幕張〉
東京ベイ幕張ホール2階
千葉市美浜区ひび野 2-3

千葉県・千葉県医師会 共催

本会は、診療報酬算定のための合同の連携会議に相当します。

あなたには
信頼できる
「かかりつけ医」が
いますか？



相談してみませんか？
ジェネリック
医薬品



看取りを
考えたことが
ありますか？

いきなり
大病院に行く
必要が
ありますか？



こどもの急病
夜間ならまずは
#8000



目次

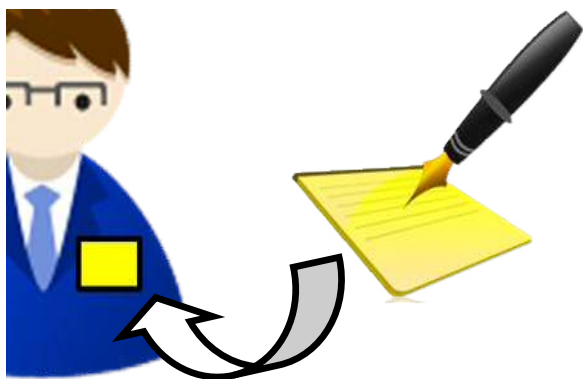
開催要項	4
会場案内図	6
第1部	
医療・福祉職とケアマネージャー対象の研修会	10
看護職分科会	12
薬剤師分科会	13
栄養士分科会	14
リハビリテーション職分科会	15
医療ソーシャルワーカー職分科会	16
実践！模擬多職種退院カンファレンス（症例検討会）	17
第2部	
講演 1	20
講演 2	21
特別講演	27
分科会報告・総括	39
参考資料	41

名札シール記入と貼付のお願い

参加者の皆様は、各自職種別に指定された色の名札シールへご記入願います。

名札シールは左胸に貼るか、ネームホルダーに入れてください

職種別に色分けされた名札シールは、総合受付横の名札記入場所に設置しております。ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。



■職種別シール色分け

- (白色) リハ職
- (黄色) 薬剤師
- (青色) 福祉職・地域連携職
- (緑色) 看護職
- (紫色) 栄養士
- (桃色) 歯科医師
- (赤色) 医師
- (黒色) 行政・医療団体 等

開催要項

メインテーマ：「退院後をささえてこそ ～医療連携から地域連携へ～」

日時 平成 27 年 2 月 8 日（日） 10：00～16：30（受付 9：30～）
場所 アパホテル&リゾート東京ベイ幕張（幕張ホール 2 階）
〒261-0021 千葉県美浜区ひび野 2-3

[敬称略]

プログラム：

【第一部】各分科会

(10：00～10：55)

第 1 会場 医療・福祉職とケアマネジャー対象の研修会
第 2 会場 看護職分科会
第 3 会場 薬剤師分科会
第 5 会場 栄養士分科会

(11：05～12：00)

第 1 会場 医療・福祉職とケアマネジャー対象の研修会
第 2 会場 リハビリテーション職分科会
第 3 会場 医療ソーシャルワーカー分科会

(10：00～12：00)

第 4 会場 実践！模擬多職種退院カンファレンス（症例検討会）

(12：10～12：40)

第 5 会場 計画管理病院協議会

【第二部】講演 1、2・特別講演・分科会報告

[総合司会]

千葉県医師会理事 松岡かおり
千葉県健康福祉部健康福祉政策課 久保木知子

[開会挨拶] (13：00～13：10)

千葉県医師会 副会長 土橋正彦
千葉県健康福祉部 保健医療担当部長 古元重和

講演 1、2 座長：国保松戸市立病院／烏谷博英

[講演 1] (13：10～13：35)

退院後を支えてこそ～医療連携から地域連携へ～

千葉県共用脳卒中地域医療連携パス計画管理病院協議会代表世話人
千葉県脳卒中連携意見交換会代表
千葉県救急医療センター／古口徳雄

[講演 2] (13：35～14：00)

千葉県での退院支援事業と脳卒中共用パスの運用の現状について

～アンケート結果中間報告～

千葉県医師会理事／松岡かおり

特別講演座長：東京湾岸リハビリテーション病院長／近藤国嗣

[特別講演] (14：00～15：25)

「地域包括ケアシステムにおけるリハビリテーションの役割」

日本リハビリテーション病院・施設協会 副会長
医療法人真正会 霞ヶ関南病院 理事長／斉藤正身

【休憩】（15：25～15：30）

【分科会報告】（15：30～16：20）

座長： 千葉県千葉リハビリテーションセンター長／吉永勝訓
千葉県脳神経外科病院医療ソーシャルワーカー／吉野圭太

各分科会報告：（各5分）

(1) 薬剤師分科会報告

千葉県千葉リハビリテーションセンター／大野幸夫

(2) 看護職分科会報告

千葉県脳神経外科病院／宮下京子

(3) 栄養士分科会報告

新八千代病院／大嶋晶子

(4) リハビリテーション職分科会報告

東京湾岸リハビリテーション病院／田口 崇

(5) 医療ソーシャルワーカー分科会報告

佐倉厚生園病院／倉石智穂

【総括】（16：20～16：30）

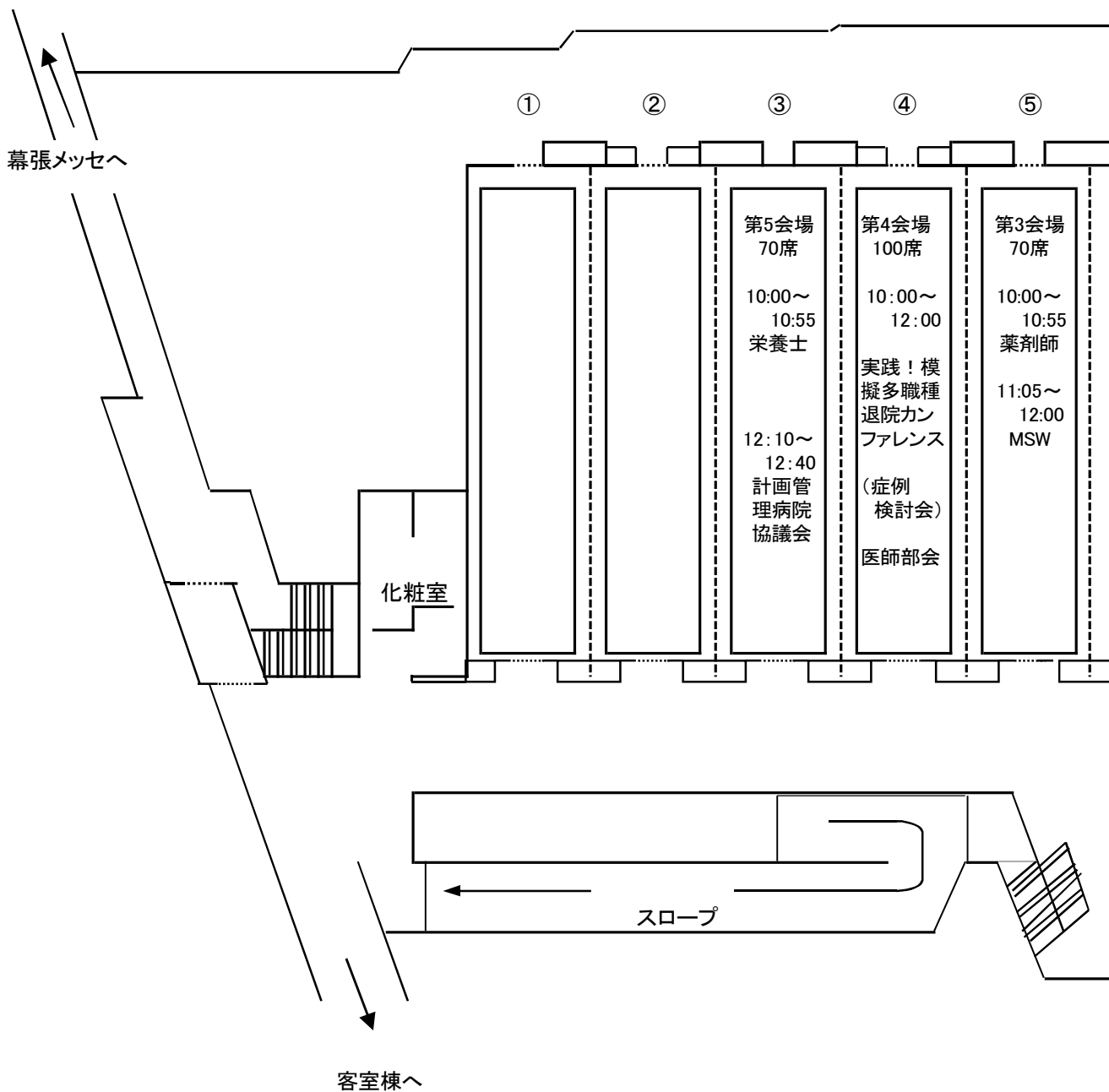
千葉県共用脳卒中地域医療連携パス計画管理病院協議会代表世話人
千葉県脳卒中連携意見交換会代表
千葉県救急医療センター

【閉会】（16：30～）

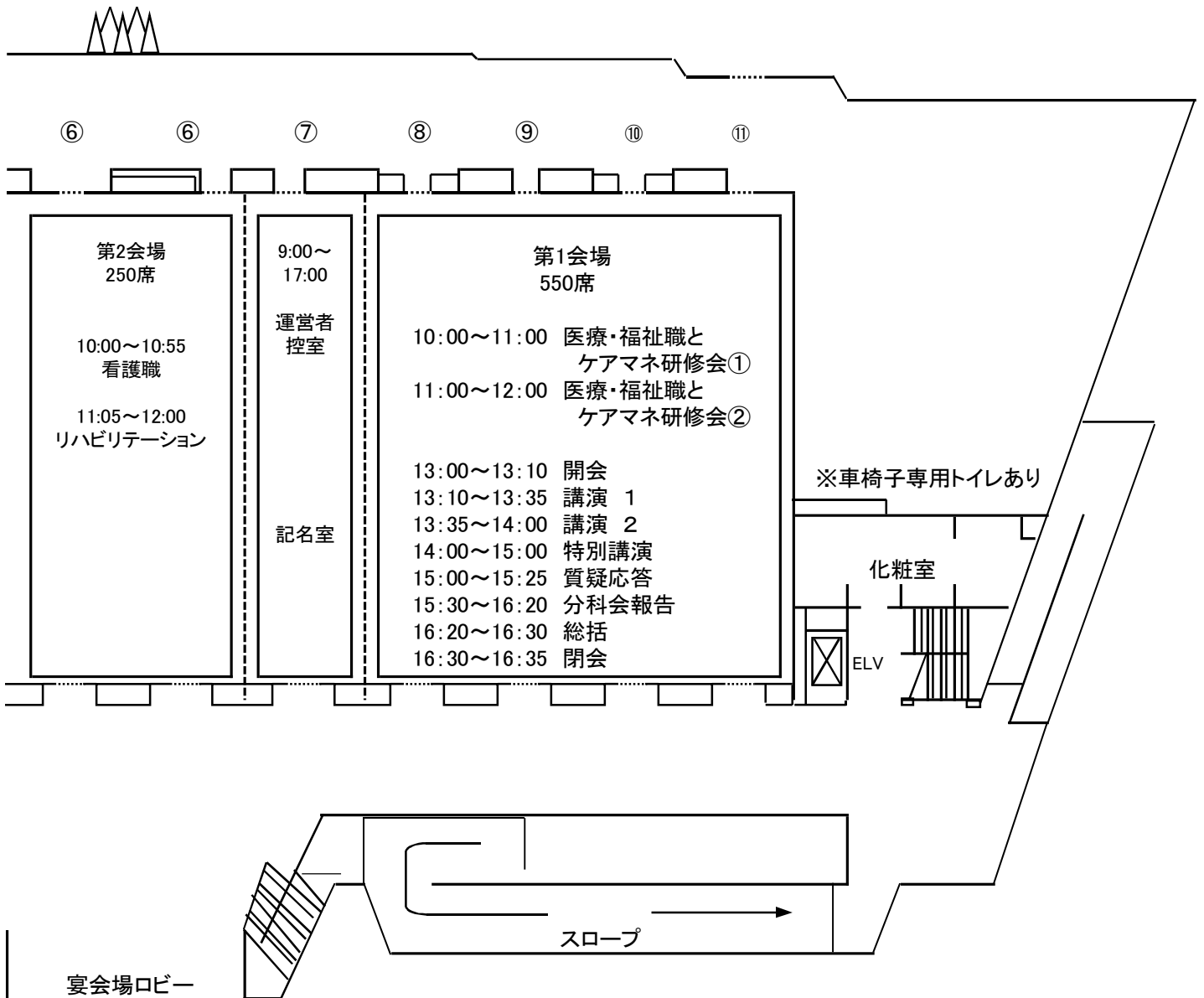
千葉県医師会 副会長 川越 一 男

第6回千葉県脳卒中連携の会

幕張ホール2F



平成27年2月8日(日)10:00～16:30



※ 会場内は、お持込みの飲食はできません。

※ ご昼食等は、隣接のワールドビジネスガーデン又は、同ホテル内にレストラン街がございますのでそちらをご利用ください。

第一部 【各分科会】 (10 : 00～12 : 00)

(10 : 00～10 : 55)

- 第1会場 医療・福祉職とケアマネジャー対象の研修会
- 第2会場 看護職分科会
- 第3会場 薬剤師分科会
- 第5会場 栄養士分科会

(11 : 05～12 : 00)

- 第1会場 医療・福祉職とケアマネジャー対象の研修会
- 第2会場 リハビリテーション職分科会
- 第3会場 医療ソーシャルワーカー職分科会

(10 : 00～12 : 00)

- 第4会場 実践！模擬多職種退院カンファレンス（症例検討会）

医療・福祉職とケアマネジャー対象の研修会

時 間 10:00～12:00

会 場 第1会場

[敬称略]

座長：順天堂大学医学部附属浦安病院 脳神経内科／ト部貴夫
東京女子医科大学八千代療センター／大橋高志

【開 会】10:00

(10:00～11:00)

1. 「脳梗塞～どうして起こる, どう防ぐ～」

東京女子医科大学八千代療センター／大橋高志

脳梗塞は、脳の血管が細くなったり血管に血栓が詰まったりすることで起こる病気で、詰まる血管の太さやその詰まり方によって3つのタイプに分けられます。脳梗塞の危険因子には、高血圧、糖尿病、高脂血症、喫煙、心房細動などがあります。脳梗塞の再発を予防するには、生活習慣を見直すことと、抗血栓薬を正しく服用することが大切です。抗血栓薬には、抗血小板薬と抗凝固薬の2種類があり、脳梗塞のタイプによって使い分けます。

2. 知っておきたい脳梗塞予防薬の効果と生活上の注意点

順天堂大学医学部附属浦安病院 脳神経内科／ト部貴夫

脳梗塞の再発予防では、心原性脳塞栓症には抗凝固薬、アテローム血栓性脳梗塞とラクナ梗塞には抗血小板薬を投与します。両薬剤とも血液を固まりにくくして、血栓形成を抑制する反面で出血合併に注意する必要があります。一方、薬の飲み忘れにより再発を来すこともあり、規則正しく継続することが大切です。また、薬剤によっては食べ物や健康食品、他の薬剤との飲み合わせで効果が変化するので管理を怠らないことが大切です。

医療・福祉職とケアマネジャー対象の研修会

時 間 10:00～12:00

会 場 第1会場

[敬称略]

(11:00～12:00)

座長：新八千代病院／藤森順子

3. 「口から食べる喜びを一人でも多くの人に提供するために」

松戸市立福祉医療センター東松戸病院／小川悦子
(摂食・嚥下障害看護認定看護師)

「口から食べる」ことは食べる栄養補給に加え、ADL 拡大、QOL 向上にも繋がります。

一人でも多くの患者さんが、「口から食べる」喜びを得られるように、急性期から回復期、慢性期を通して、多職種との連携が必要になります。

今回の講習会では、施設や在宅において摂食・嚥下障害のある患者さんに対する安全な食事介助のポイントや、「食べられる口」を維持するための口腔ケア、口腔リハビリの必要性と方法など、すぐに実践に取り組める内容を紹介したい。

4. 「これだけは知っておきたい！褥瘡予防マットレスとケア用品の選び方」

日本医科大学千葉北総病院／渡辺光子
(皮膚・排泄ケア認定看護師)

褥瘡の予防や治療において、適切な体圧分散マットレスを使用することは今や常識となりました。

そのような中で、急性期とリハビリ期、あるいは病院と在宅など、治療の時期や療養環境、さらには患者の個別性を踏まえた適切なマットレスやケア用品を選択し、活用するには、ある程度の基礎知識が必要です。

今回は、ケアマネジャーとして是非知っていただきたい、活用できる知識として、体圧分散マットレスの選択基準と関連するケア用品について解説します。

看護師分科会

時 間 : 10:00~10:55

会 場 第2会場

テーマ 「退院支援 –急性期病院・回復期病院の現状をともに考える」

[敬称略]

座長：千葉脳神経外科病院／清水郭子

【プログラム】

1. 「急性期病院における退院支援」

東京歯科大学市川総合病院脳卒中センター／杉山明子

昨年の平成25年度、当院では236名の千葉県共用脳卒中地域医療連携パス適応患者があった。そのうち111名（47%）の患者様が回復期病院への転院をしていた。

急性期におけるケアの充実は必須であるが、それと同様に回復期へのスムーズな移行が重要である。

これを考慮し当院では多職種における退院支援に努めている。その現状をここに報告し、今後、更なる千葉県共用脳卒中地域医療連携パスの充実を図っていきたいと考える。

【質疑応答】

2. 「地域初の回復期退院支援を経験したケアマネージャーの思い」

袖ヶ浦さつき台病院 回復期病棟／藤田さやか

当院はH24年10月に回復期をオープンし、早くも2年が過ぎた。経験の浅いスタッフも多く様々な職種との協働と連携に困難を感じながら現在に至る。中でも退院支援の入り口に立ち、患者の在宅生活を支えるケアマネとの連携は必須かつ重要である。

当院では退院の準備に伴い、患者の状況や家族の介護力などの情報共有の為に退院時カンファレンスにケアマネの参加を依頼している。それらのケースでケアマネからの改善のご意見を頂く場面があり、連携の難しさを痛感した。「どうしたら互いがストレスがなくより良い連携ができるか」を模索するために現状の意識を調査するため、当院法人内のケアマネにアンケートを行った。今回その結果を基に参加者とともに意見を交わしたいと思う。

【質疑応答】

薬剤師分科会

時 間 10:00～10:55
会 場 第3会場
テーマ CAMP-S 薬剤シートの作成から活用へ

[敬称略]

座長：千葉リハビリテーションセンター薬剤部／大野幸夫

1. 薬剤シートを活用した薬-薬連携

新八千代病院薬剤科／木川美乃里

脳卒中地域医療連携パス薬剤シートは、平成24年度に導入された。約2年半の運用期間中シートの普及に努めてきたが、更なる利用促進の必要性を感じている。そこで、回復期病院である当院のこれまでの受け取り及び作成実績をもとにシートの記入例を示しながら、薬剤シートを活用した薬-薬連携について説明する。また、地域生活期から回復期への情報伝達の試みについても言及したい。

2. 急性期・回復期・地域生活期における連携

[急性期] 急性期病院における「薬剤シート」の運用状況

日本医科大学千葉北総病

浦 裕之、田中千尋、渡邊暁洋、福田恵子

当院では、平成25年6月から全病棟に薬剤師が常駐し病棟薬剤業務実施加算を算定している。また、脳神経外科病棟における病棟薬剤業務の一つとして、平成26年5月より脳卒中地域医療連携パス薬剤シート（以下、薬剤シート）の運用を開始した。今回は、当院における薬剤シートの運用状況と、「連携医療施設からの薬剤シートが急性期病院に戻ってこない」など、運用上の問題点について報告する。また、急性期に作成した薬剤シートの受け手である回復期医療機関にとって有用な薬剤シートの在り方についても併せて検討したい。

[回復期] 回復期リハビリ病棟への薬剤師の関わりと地域連携について

袖ヶ浦さつき台病院薬剤課／山口奈津子

当院では、平成24年10月に回復期リハビリ病棟を開設した。しかしながら、薬剤師の人手不足のため、回復期リハビリ病棟への薬剤師の介入はできずにいた。その中で、千葉県脳卒中連携パス対象患者様を足掛かりとして、H25年8月より少しずつ介入し、薬剤パスシートを用いて、「かかりつけ薬局」への情報提供を始めた。

今回は、時間をやりくりしながら試行錯誤行っている、回復期リハビリ病棟での薬剤師の業務内容と、南部支部での地域連携パスシートの現状と課題について発表する。

[地域生活期] 千葉県共用脳卒中地域医療連携パス薬剤シートを基本とした回復期と地域生活期の薬薬連携パス

金谷法好 1、島村理瑛 1、木川美乃里 2

1 アイン薬局、2 新八千代病院薬剤科

薬剤シートを用いたシームレスな薬薬連携は患者のケアに貢献できると考えられるが、なかなか普及していないのが現状である。当薬局と新八千代病院で行っている薬剤シートを用いた連携パスは回復期から地域生活期へのパスのみではなく、患者が入院された時に地域生活期から回復期へパスを行っている。人が住み慣れた地域で暮らし続けられる社会の実現には個別最適化された治療やケアが必要である。薬剤シートを用いたシームレスな薬薬連携はこれら社会の実現に有効な手法の一つであると考えられる。

栄養士分科会

時 間 10:00～10:55

会 場 第4会場

テーマ 『どこにいてもお食事で困らないために』
～指標を理解し活用できる栄養士になろう～

[敬称略]

座長：新八千代病院／大嶋晶子

1. 講演（10:00～10:30）

「スマイルケア食」について

講師 社会福祉法人松栄会特別養護老人ホームひまわりの丘管理栄養士／富松浩美

平成26年度農山漁村6次産業化対策事業のうち医福食農連携推進環境整備事業
(介護食品普及支援)「スマイルケア食」について

はじめに、介護食品の市場規模は、平成24年度で1020億円、一方ニーズは約2兆5千億円と試算され、介護食品が広く利用されていない状況にあります。そのため農林水産省が介護食品普及支援を行い介護食品市場の活性化を図る取組を行いました。取組の一つに介護食品の区分・アルゴリズムの統一と名称の一般公募による募集が、挙げられていました。その結果、昨年11月11日に介護食品が「スマイルケア食」として決定されました。当施設では、介護食のメニュー開発や地域の関係者が連携した提供サービスの方法を構築していくための取組を行っています。

介護食メニューについては、現在特別養護老人ホームでもニーズの高いソフト食を更に企画開発し在宅高齢者へ提供可能な状態にしました。種類としては、25種類を開発、うち5種類は半製品状態のものとししました。これは、配食弁当などに使用しやすくしたものです。区分としては、スマイルケア食B・Cに、ユニバーサル区分としては、測定結果からも区分2～4に該当します。在宅高齢者への提供方法についてもモニター企画を計画し、地域包括支援センター・居宅支援事業所、ヘルパー事業所、訪問診療所、調剤薬局等々の地域連携を軸に行いました。モニター企画の利用者としては、独居世帯、高齢者世帯、グループホーム入居者など様々な環境のモニターを選出しました。今後2050年には、3人に1人が65歳以上の高齢者になると言われております。少しでも元気で長生きするためには医療以外にも「食べること」を考えて行かなければなりません。今回農林水産省の補助事業を受け、食支援による地域包括ケアの一部を行った事で管理栄養士の役割が大きくなるであろうと考えられます。

2. 様々な分類・指標を体感する（試食含む）（10:30～10:45）

ユニバーサルデザインフード、嚥下ピラミッド、摂食嚥下リハ学会嚥下調整食学会分類、スマイルケア食の分類を比較し、栄養シート記入に役立てる。

3. 栄養シートの運用状況の報告（10:45～10:50）

リハビリテーション職分科会

時 間 11:05～12:00
会 場 第2会場
テーマ 「パスを使ってシームレスな連携を広めよう」

[敬称略]

座長：日本訪問リハビリテーション協会相談役

千葉県在宅リハビリテーション研究会世話人／伊藤隆夫 (PT)

【ディスカッション】

内容：千葉県脳卒中医療連携パスを作成するに至った経緯、またパスの基本的な流れ、各シートの基本的な内容に関して説明する。

五井病院／内山安正 (OT)

内容：新しい地域生活期リハシートが運用になり、益々急性期・回復期・地域生活期の連携が期待される反面、新しくパスに参加した病院、施設からは実際の運用方法やメリットが良くわからないなどの指摘を受ける事も多くなってきた。今回、計画管理病院から地域生活期までパスによる連携が繋がった症例を通し、実際にパスによる連携がいかに行われどのような効果があったのか、また改善点などに関しそれぞれの立場から報告する。

千葉脳神経外科／佐々木 亨 (PT)

東京湾岸リハビリテーション病院／熊谷美咲 (PT)

谷津居宅サービスセンター／森田とわ (PT)

【質疑応答】(11:40)

医療ソーシャルワーカー分科会

時 間 11:05～12:00
会 場 第3会場
テーマ 「医療と介護の連携」

[敬称略]

座長：八街総合病院／岡本佑一

1. プレゼンテーション (11:05～11:15)

(急性期病院) 発表者：旭中央病院／秋 慶一

- ・地域生活期との「千葉県地域生活連携シート」を用いた連携について、医療機関における管理・活用方法、有用性を発表する。

(回復期病院) 発表者：佐倉厚生園病院／成田 薫

- ・千葉県回復期リハビリテーション連携の会会員に対して脳卒中患者退院時の地域生活期との連携方法に関してアンケートを行ったのでその結果を発表する

2. グループディスカッション (11:15～11:45)

- ・分科会参加者によるグループディスカッション (以下GD)
(急性期・回復期・その他の職種をランダムに振り分けたGD)
《テーマ：脳卒中患者の退院支援における他機関、他職種連携の課題》
- ・アンケート記載

3. グループ発表 (11:45～12:00)

実践！模擬多職種退院カンファレンス（症例検討会）

時 間 10：00～12：00

会 場 第4会場

テーマ 実践！模擬多職種退院カンファレンス!!

第6回 千葉県脳卒中連携の会 模擬カンファレンス 開催要項

部会名：医師部会

目 的：退院カンファレンスは病院と地域を繋ぐ大事な話し合いの場である。退院後の患者さんをイメージして話し合うことで、多職種の専門性や役割・立場の違いなどを認識し、お互いへの理解を促し、入院中から患者さんの退院後の生活を考える視点を持てるようにする。

また、この体験を通じて、地域における顔の見える連携作りのため参加者が各地区に戻り、会を行うきっかけとする。

参加者：○病院側：急性期・回復期

医師・看護師・歯科医師・薬剤師・PT/OT/ST・MSW・栄養師 等

○地域側

かかりつけ医・訪問看護師・歯科医師・歯科衛生士・調剤薬局

ケアマネジャー・PT/OT/ST・栄養師・ヘルパー・包括支援センター 等

方 法：症例検討会。10人程度の10グループに分かれて、KJ法を用いて検討する。

グループワーク終了後各グループでの発表を行う。

職種解説：

○PT：理学療法士：「基本的動作能力の回復」を行うために、治療体操 その他の運動を行わせ、電気刺激、マッサージ、温熱 他の物理療法を加えることが出来る。

○OT：作業療法士：「応用動作と社会適応のための能力快復」つまり日常生活をスムーズに送るための複合的な動作を獲得するための機能回復を目指す。

○ST：言語聴覚士：ことばの障害、きこえの障害、声や発音の障害、食べる障害に対する指導を行う。

○MSW：医療ソーシャルワーカー：規定した法律はなく、各所属機関における職名は統一されていない。「医療福祉相談員」などということもある。資格としては「社会福祉士」を持っていることが多い。業務としては、以下。

- ①療養中の心理的・社会的問題の解決調整援助、②退院援助、③社会復帰援助、
- ④受診・受療援助、⑤経済的問題の解決調整援助、⑥地域活動

第二部
【講演・特別講演・分科会報告・総括】
(13:00～16:30)

「共用連携パスから地域包括ケアを見据えて」

第1会場

〔総合司会〕

千葉県医師会理事 松岡かおり
千葉県健康福祉部健康福祉政策課 久保木知子

【開会・挨拶】(13:00～13:10)

千葉県医師会 副会長 土橋 正彦
千葉県健康福祉部 保健医療担当部長 古元 重和

【講演 1】(13:10～13:35)

【講演 2】(13:35～14:00)

【特別講演】(14:00～15:25)

【分科会報告】(15:30～16:20)

【総括】(16:20～16:30)

【閉会】(16:30～)

講演 1

時 間 13：10～13：35
会 場 第1会場
テーマ 共用連携パスから地域包括ケアを見据えて」

[敬称略]

座長：国保松戸市立病院／烏谷博英
千葉県居宅介護支援専門員協議会／酒井朋子

退院後を支えてこそ～医療連携から地域連携へ～

千葉県共用脳卒中地域医療連携パス計画管理病院協議会代表世話人
千葉県脳卒中連携意見交換会代表
千葉県救急医療センター
古口徳雄

千葉県共用脳卒中地域医療連携パス（CAMP-S）は、6年前4疾病の地域医療連携パス事業で始まりました。CAMP-Sの発行数は年間1600件を超えています。

また、回復期リハの担当として連携に参加している病院のなかには急性期病院として機能する病院も多くあり、千葉県内の脳卒中患者さんのほぼすべてをカバーする医療連携ができあがりました。

私たちが、次に取り組むべきは患者さんを生活の場で支えることです。医療・介護・福祉と地域社会が退院後の患者さんと生活を共にしていくための地域連携です。

その端緒として今年から取り組んでいる退院時支援事業などの現状についてお話しします。

講演 2

時 間 13：35～14：00
会 場 第1会場
テーマ 共用連携パスから地域包括ケアを見据えて」

[敬称略]

座長：国保松戸市立病院／鳥谷博英
千葉県居宅介護支援専門員協議会／酒井朋子

千葉県での退院支援事業と脳卒中共用パスの運用の現状について

～アンケート結果中間報告～

千葉県医師会理事／松岡かおり

脳卒中患者の多くは、生涯を後遺障害とともに生きることを余儀なくされている。その障害を支えるために、病院から地域生活への円滑な移行が望まれる。関係する者が共通認識を持つことにより、退院後も多くの方が再発防止や合併症と向き合い、その人らしい人生を送れるように地域での退院支援システムの検討が必要と考える。また、千葉県では今までの成果として全県共用脳卒中連携パスが浸透してきており、地域生活期への退院支援のツールとしての利用を推進していきたい。

今年度は退院支援に関する問題点を抽出するため全県下におけるアンケート調査を行った。その内容と現時点での解析結果をここに紹介する。来年度はその問題点を元に地域での実質的な活動を展開していく予定である。

みなさま、アンケート結果を各地域でぜひご活用ください。

アンケート対象：

- ① 県内の病院：286 病院
- ② 連携パス届出計画管理病院（急性期）：26 病院（①再掲）
- ③ 連携パス届出回復期病院（回復期）：36 病院（①再掲）
- ④ 連携パス届出かかりつけ医（地域生活期）：233 医療機関
- ⑤ 居宅介護支援事業所（ケアマネ）1,761 事業所

合計 2,280 通

平成26年度千葉県医療介護連携・入退院支援についてのアンケート調査
〈病院:計画管理病院・登録回復期病院〉

webアンケートは、千葉県医師会ホームページよりご利用いただけます

1. 医療機関名 _____ 所属地区医師会名 _____

回答者 _____

2. 貴院の脳卒中診療の位置付けについて該当するのは(複数回答可)

急性期治療 (回復期)リハビリテーション 慢性期(療養など)

3. どの脳卒中地域連携に参加していますか?

計画管理病院 退院時指導料Ⅰ算定 退院時指導料Ⅱ算定 参加していない

4. 患者さんが脳卒中連携パスを利用できないケースをお聞かせください

[]

5. 脳卒中連携パスを利用する患者さんとしらない患者さんで退院時支援にどのような違いがありますか?

特になし

[]

6. 入院した脳卒中患者さんの主治医は確認していますか?その際、連絡はしていますか?

① 確認している していない

② 必ず連絡している 連絡するようにしているが、全部ではない 連絡していない

7. 退院後の脳卒中患者さんが再発以外の理由(肺炎など)で入院する場合窓口は決まっていますか?

脳卒中の診療科 内科など個別の診療科 地域連携室

併発した疾患の診療は基本的にしない その他()

8. 7について、困ったことはありますか?

特になし

[]

9. 脳卒中患者さんの退院時支援に関して、よかったこと・困ったことなどがあればお聞かせください。
(地域連携シートが役立った、退院時にかかりつけ医が見つからない・転院先が見つからない 等)

[]

※ □月■日()までにインターネット回答をお願いします。難しい場合はFAXでご返送ください。

※データの使用に関しては千葉県・県医師会に帰属します。

FAX番号 020-4664-3575 千葉県医師会 行き
mail t-iryo@office-cma.or.jp

ご協力ありがとうございました。
(平成26年11月)

平成26年度千葉県医療介護連携・入退院支援についてのアンケート調査<病院・連携部署>

※webアンケートは千葉県医師会ホームページよりご利用いただけます

1. 病院名 _____ 回答者 _____

連絡先TEL: _____

2. 全病床数: _____ 床

3. 種類別病床: 一般病床 _____ 床 回復期リハ病床 _____ 床 療養病床 _____ 床

地域包括ケア病床 _____ 床 障害者病床 _____ 床 精神病床 _____ 床 その他 _____ 床

4. 退院時支援を行う部署は設置されていますか？

設置されていない

設置されている 地域医療連携室 各病棟 部署はないが人を配置している (複数回答可)

部署名: _____ TEL _____ FAX _____

配置人員: 医師 _____ 人 看護師 _____ 人 (退院調整 病棟 外来 事務 _____ 人

MSW _____ 人 その他 _____ 人(職種)

5. 入院時の地域連携についてお聞きします。

① 入院時の情報収集で、かかりつけ医・ケアマネジャーの有無を確認していますか いる いない

② かかりつけ医・ケアマネジャーがいる場合、連絡をしていますか している 一部している していない
・誰が、どのタイミングで連絡をしていますか

③ 入院時ケアマネジャーが、入院時情報提供書を持参する際の持参先・送り先はありますか？

ない・検討中 各入院病棟

4と同じ部署 その他 (部署名: _____ TEL _____ FAX _____)

必要な手順:

④ ケアマネジャーから入院情報提供書もらった枚数/うち県連携シートの枚数/(平成26年10月の一か月間)

なし 入院情報提供書 _____ 枚 うち県地域生活連携シート _____ 枚

2枚目に続く

6. 退院時の地域連携についてお聞きします。

① 4の部署が退院支援を実施する割合は、どのくらいですか(過去3か月間/8・9・10月)

- ・ 生存退院患者数 _____
- ・ 4の設問の地域連携部門の退院調整数 _____

② 退院支援対象の振り分けはどのようにおこなっていますか？(複数回答可)

スクリーニングシートを使用している
 退院支援計画書を作成している
 主治医からの依頼

・その他具体的に: _____

③退院支援が必要な方で、介護保険未申請だった場合、どのように対応をしていますか？(複数回答可)

地域包括支援センター・市町村担当課への相談
 介護保険申請をしてもらう
 ケアマネに相談

その他具体的に: _____

④退院時実施している事項について

_____ いる・いない

- | | | |
|-------------------------------------|----------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 退院時カンファレンス | <input type="checkbox"/> 退院前家屋調査 | <input type="checkbox"/> 医療行為の指導 |
| <input type="checkbox"/> 薬剤指導 | <input type="checkbox"/> 栄養指導 | <input type="checkbox"/> 日常機能動作などリハビリに関する指導 |

□その他具体的な支援があれば: _____

⑤退院時に千葉県地域生活連携シートを使用していますか？

_____ いる・いない

10. 退院後の支援・相談窓口はありますか？

_____ あり・なし

□ 4と同じ部署 その他: 部署名: _____ TEL _____ FAX _____

11. 退院支援において、課題と思われることについて☑をしてください。(複数回答可)

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 退院支援を担当する者の人手不足 | <input type="checkbox"/> 院内の体制が整っていない |
| <input type="checkbox"/> 連携先の窓口がわからない | <input type="checkbox"/> 患者・家族の退院支援への理解不足 |
| <input type="checkbox"/> 他機関に連絡しにくい | <input type="checkbox"/> 連携できる地域の社会資源(介護保険サービス等)が少ない |

その他

12 ケアマネジャーへの要望、意見、ソーシャルワーカー・退院調整部門の課題など忌憚のない声をお寄せ下さい。

※ □月■日()までにインターネット回答をお願いします。難しい場合はFAXでご返送ください。

※データの使用に関しては千葉県・県医師会に帰属します。

FAX番号 020-4664-3575 千葉県医師会 行き

ご協力ありがとうございました。

mail t-iryo@office-cma.or.jp

(平成26年11月)

地域の病院と介護との連携について、今後、充実した利用者支援をするために、ぜひご意見をお聞かせ下さい。※ ケアマネジャーお1人毎に回答をお願いします。

Webアンケートは千葉県医師会ホームページよりご利用いただけます

アンケート項目

1. 事業所名: _____ 人目/回答数 _____ 人 所在市町村: _____
2. 現在の担当ケース数(10月末日時点の給付実績) (要介護) _____ 件
(要支援) _____ 件
3. 担当ケースのうち10月中に病院から退院したケース数 (要介護) _____ 件
(要支援) _____ 件

* 上記3. の件数(10月中に病院から退院したケース数)の内訳等をご記入ください

利用者	退院された病院名	病院からの引き継ぎの連絡	脳卒中病名	要介護・要支援の区別
1		有・無	有・無	介護・支援
2		有・無	有・無	介護・支援
3		有・無	有・無	介護・支援
4		有・無	有・無	介護・支援
5		有・無	有・無	介護・支援
6		有・無	有・無	介護・支援
7		有・無	有・無	介護・支援
8		有・無	有・無	介護・支援
9		有・無	有・無	介護・支援
10		有・無	有・無	介護・支援

注1 引き継ぎには、退院前の多職種カンファレンス以外に、病院職員のと簡単な面談を含めます。但し、介護支援専門員から引き継ぎを求めた場合は「無」としてください。

注2 脳卒中病名には、脳梗塞・脳出血・脳血栓・くも膜下出血などが入ります。

4. 現在担当している利用者のうち、10月中に病院に入院した件数 (要介護) _____ 件
(要支援) _____ 件
- 中に入院したケースのうち、病院に入院時情報提供書をおくった件数 (要介護) _____ 件
/内千葉県地域生活連携シートを使用した件数 (要支援) _____ 件

5. 病院との退院時の引き継ぎでうまくいった点や、問題点を記述ください(可能なら、病院名も)
例)○△病院:入院時情報提供書を持っていこうと電話したけど、たらい回しにされた。結局、連絡なしで退院。

※ 口月■日()までにインターネット回答をお願いします。難しい場合はFAXでご返送ください。

※ FAXでの回答の場合、不足分はコピーをお願い致します。

※ データは個人情報に関しては公表しません。それ以外についての使用に関しては千葉県・県医師会に帰属します。

特別講演

時 間 14：00～15：25（質疑応答を含む）
会 場 第1会場
テーマ 「共用連携パスから地域包括ケアを見据えて」

[敬称略]

座長：東京湾岸リハビリテーション病院長／近藤国嗣

「地域包括ケアシステムにおけるリハビリテーションの役割」
医療法人真正会 霞ヶ関南病院 理事長／斉藤正身

分科会報告・総括

時 間 15:30～16:30
会 場 第1会場

[敬称略]

【分科会報告】(15:30～16:20)

座 長 千葉県千葉リハビリテーションセンター長／吉永勝訓
千葉県脳神経外科病院医療ソーシャルワーカー／吉野圭太

各分科会報告：(各5分)

- (1) 看護職分科会報告
千葉県脳神経外科病院／宮下京子
- (2) 薬剤師分科会報告
千葉県千葉リハビリテーションセンター／大野幸夫
- (3) 栄養士分科会報告
新八千代病院／大嶋晶子
- (4) リハビリテーション職分科会報告
東京湾岸リハビリテーション病院／田口 崇
- (5) 医療ソーシャルワーカー分科会報告
佐倉厚生園病院／倉石智穂

【総 括】(16:20～16:30)

～CAMP-SのM～

千葉県共用脳卒中地域医療連携パス計画管理病院協議会代表世話人
千葉県脳卒中連携意見交換会代表
千葉県救急医療センター／古口徳雄

千葉県共用脳卒中地域医療連携パスの略称(愛称?)であるCAMP-Sですが、オリジナルをご存じでしょうか?

“Chiba Alliance of Medical Pathway - Stroke”です。

今回のテーマ“医療連携から地域連携へ”に合わせて見直しを行いつつあります。“CAMP-SのM”です。多職種、多分野、多方面など“M=Multi”で決まりですが、何を続けるか?

総括として“CAMP-SのM”について提案します。

【閉 会】(16:30～)

【参考資料】

- 千葉県共用地域連携パス（例示モデル）脳卒中／千葉県ホームページ
- 栄養シート
- 地域生活連携シート
- 千葉県共用脳卒中地域医療連携パス計画管理病院協議会
- 千葉県回復期リハビリテーション連携の会
- 地域生活期担当医(医師会別人数)
- 平成 25 年度 CAMP-S の実績



千葉県共用地域医療連携パス

[千葉県共用地域医療連携パス運用状況等アンケート調査の結果について](#)

[千葉県共用地域医療連携パスの認知度と使用状況について](#)

[千葉県共用地域医療連携パス\(例示モデル\)急性心筋梗塞](#)

[千葉県共用地域医療連携パス\(例示モデル\)糖尿病](#)

[千葉県共用地域医療連携パス\(例示モデル\)脳卒中](#)

[千葉県共用がん地域医療連携パスについて](#)

[千葉県共用地域医療連携パス運用状況等アンケート調査の結果について](#)

[千葉県共用地域医療連携パス使用実態調査等の結果について](#)

更新日:平成26(2014)年6月13日 印刷

千葉県共用地域医療連携パス(例示モデル)脳卒中

関連リンク

- [地域生活連携シート\(介護シート\)](#)

脳卒中(平成26年4月版)

千葉県共用脳卒中地域医療連携パスについては、千葉県医師会に、かかりつけ医や急性期病院、回復期病院等の関係者で構成する検討会を設置し、共用パスの見直しを行っています。

このたび、下記のとおり内容の改訂を行いました。

平成26年4月版の改訂内容

- 診療情報シート(急性期病院用)に、「鼻腔栄養開始日」又は「胃ろう造設日」の欄を追加
- 連携シートに、栄養シートを新設
- 連携シートのリハシート(回復期病院用)に脳卒中後のうつの欄を追加
- 連携シートの薬剤シートの運用の見直し(運用の手引きに、薬剤シートの運用方法について追記)
- 診療経過表のリハシート(地域生活期作成用)の全面改訂

シートの内容

- 運用の手引き [様式\(ダウンロード\)\(PDF:1,789KB\)](#)

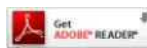
名称	概要	様式(ダウンロード)
チェックシート	急性期病院及び回復期病院において、連携パス作成状況をチェックするシートです	様式(エクセル:63KB)
診療計画書	患者及び家族に、診療計画を説明するためのもので、診療報酬上の規定に基づく書類となります。計画管理病院では、入院後7日以内に説明し同意していただくことで、計画管理料の算定が可能となります。また、リハビリテーション病院では、退院調整時に診療計画書の説明と同意をいただくことで、退院時指導料(I)の算定可能となり、かかりつけ医が退院時指導料(II)を算定できます。	様式(エクセル:153KB)
連携シート	連携先の医療機関等が必要とする情報を記載し、接着パスとして使用します。この書類は、急性期病院作成用と回復期病院作成用とがあり、それぞれが『診療情報シート』、『歯科診療情報シート』、『看護シート』、『リハシート』、『MSWシート』、『薬剤シート』、『栄養シート』の7つで構成されています。	様式(エクセル:1,217KB)

- 安全・安心情報
- 防災ポータル
- イベント情報
- 公募・募集情報
- 相談・問い合わせ窓口
- よくある質問
- 総合手続案内
- サービス停止情報

	診療報酬上、回復期病院作成の連携シートの内1部は計画管理病院に送付する必要があります。	
診療経過表	地域生活期において医療機関等が行う診療等の内容の一覧表です。 『患者基本情報』、『再発予防シート』、『歯科シート』、『リハシート(地域生活期作成用)』、『地域生活連携シート(介護シート)』で構成されています。	様式(エクセル:1、490KB) 地域生活連携シート(別ページ)
連絡票	地域生活期におけるコミュニケーションツールとして使用します。 『連絡票(様式A)』、『連絡票(様式B)』、『連絡票(様式C)』で構成されています。 『連絡票(様式C)』は、計画管理料を算定している患者さんがかかりつけ医に紹介されたとき、計画管理病院に郵送することで退院時指導料(II)を算定できます。 『連絡票(様式B)』、『連絡票(様式C)』は、診療情報提供書として算定することが可能です。(退院時指導料(II)と同時算定はできません)	様式(エクセル:93KB)

よくある質問

- [県政へのご意見のページ\(保健・医療\)](#)



PDF形式のファイルをご覧いただく場合には、Adobe Readerが必要です。Adobe Readerをお持ちでない方は、バナーのリンク先から無料ダウンロードしてください。

このページに関するお問い合わせ

所属課室: [健康福祉部健康福祉政策課政策室](#)
 電話: 043-223-2609
 ファクス: 043-222-9023

[メールでお問い合わせ](#)

[ページの先頭へ戻る](#)

最近閲覧したページ [機能の説明](#)

[千葉県共用地域医療連携パス\(例示モデル\)脳卒中](#) | [千葉県共用地域医療連携パス](#) | [市町村マップ](#) | [プロフィール](#) | [千葉県統計年鑑\(平成18年\)](#)
[千葉県のがた](#) | [教育・文化・スポーツ](#) | [特別養護老人ホーム](#) | [福祉施設案内](#) | [福祉・子育て](#)

[このホームページ\(ウェブサイト\)について](#) | [リンク・著作権・プライバシー・免責事項等](#) | [サイト運営の考え方](#)

千葉県庁 〒260-8667 千葉市中央区市場町1-1 電話番号: 043-223-2110(代表)

[千葉県庁のご案内](#)

[県政へのご意見](#)

Copyright © Chiba Prefectural Government. All rights reserved.

千葉県共用脳卒中地域医療連携パス 栄養シート

施設名: _____ 作成日: 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日

連絡先: 直通 代表 _____ 作成者 _____

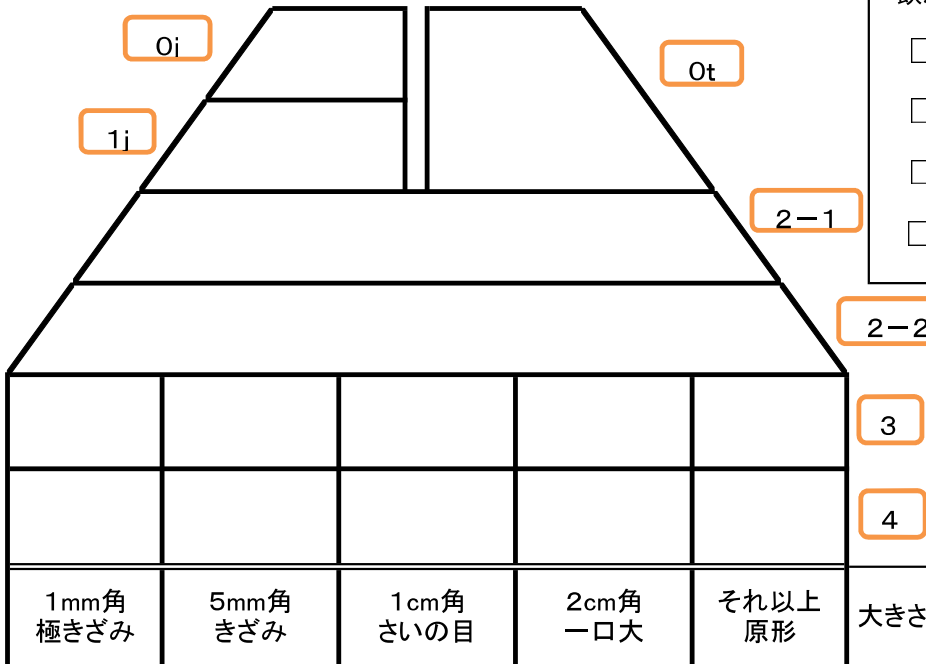
患者氏名: _____ 様 年齢: _____ 歳 性別: 男 女
 生年月日: □ M □ T 年 月 日 身長: _____ cm 体重: _____ kg
 S H 日 BMI: _____ 標準体重: 0 kg

<食事情報> 経口 経管

食種	エネルギー		kcal		蛋白質		g
摂取量: 主	%	副	%	kcal	経管水分量	追加	総量
							ml

その他特記事項

<分類シート>



- 飲水とろみの状態
- 段階0 とろみなし
 - 段階1 薄いとろみ
 - 段階2 中間のとろみ
 - 段階3 濃いとろみ

説明

- Oj: 均質で、付着性・凝集性・硬さに配慮したゼリー。
離水が少なく、スライス状にすくうことが可能。
- Ot: 均質で、付着性・凝集性・硬さに配慮したとろみ水。
(原則的には、中間のとろみあるいは濃いとろみのどちらかが適している。)
- 1j: 均質で、付着性・凝集性・硬さ・離水に配慮したゼリー・プリン・ムース状のもの。
- 2-1: プューレ・ペースト・ミキサー食など、均質でなめらかでべたつかず、まとまりやすいもの。
スプーンですくって食べることが可能なもの。
- 2-2: プューレ・ペースト・ミキサー食などで、べたつかず、まとまりやすいもので不均質なものも含む。
スプーンですくって食べることが可能なもの。
- 3: 形はあるが、押しつぶしが容易、
食塊形成や移送が容易、咽頭でばらけず嚥下しやすいように配慮されたもの。
多量の離水がない。
- 4: 硬さ・ばらけやすさ・貼りつきのないもの。箸やスプーンで切れるやわらかさ。

平成26年4月版

千葉県地域生活連携シート(参考様式)【介護支援専門員 ⇄ 医療機関】

平成23年4月版

(1)入院先の医療機関等名称 様	下記利用者(家族)の同意に基づき、 利用者の身体・生活機能等の情報を 送付しますので、ご活用ください。	(2)送付日: (面談日):	平成 年 月 日
		(3)入院日: (退院日):	平成 年 月 日

(4)利用者氏名 <small>(ふりがな)</small> 千葉 太郎	(5)生年・性別等 13年 5月 5日 <input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女 (満75歳)	(6)生活保護 <input checked="" type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 有り	(7)障害等認定 <input type="checkbox"/> 無し <input checked="" type="checkbox"/> 身障(申請中) <input type="checkbox"/> 療育 <input type="checkbox"/> 精神()級 <input type="checkbox"/> 特定疾患
(8)要介護度 要介護5	認定有効期間 ~ 年 月 日	(9)障害高齢者日常生活自立度(寝たきり度) B1	(10)認知症高齢者日常生活自立度 IIa
(11)介護サービス利用状況 <input type="checkbox"/> 訪問介護(/週) <input type="checkbox"/> 訪問看護(/週) <input type="checkbox"/> 居宅療養管理指導(/週) <input type="checkbox"/> 訪問リハ(/週) <input type="checkbox"/> 通所リハ(/週)	(12)同居家族 <input type="checkbox"/> 無し <input checked="" type="checkbox"/> 配偶者 <input type="checkbox"/> 兄弟姉妹 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 子 <input type="checkbox"/> 子の配偶者	(13)住居 <input type="checkbox"/> 戸建 <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> マンション(1階) <input type="checkbox"/> 施設 (エレベータ: <input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し)	(14)主介護者 千葉 華子 続柄: 妻 <input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居 電話: 就労状況: 無し 健康状態: 腰痛あり
(15)キーパーソン 千葉 華子 続柄: 妻 <input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居 電話: (16)緊急連絡先:			

(17)かかりつけ情報等(医師・歯科医師・訪問看護ステーション・薬局等)

主病名	情報源	医療機関等名称	診療科名等	受診状況等	電話番号	特記事項(既往歴等)
1: 高血圧・糖尿病	<input checked="" type="checkbox"/> 意見書 <input type="checkbox"/> 家族等	Sクリニック	内科	外来通院		心房細動・喫煙歴あり。同居の息子が就労中。
2:	<input checked="" type="checkbox"/> 意見書 <input type="checkbox"/> 家族等					
3:	<input type="checkbox"/> 意見書 <input type="checkbox"/> 家族等					

記入時の身体・生活機能等

(18)記入日: 平成 27年 2月 8日		<input type="checkbox"/> 入院時 <input checked="" type="checkbox"/> 入院中 <input type="checkbox"/> 退院時 地域生活期 <input type="checkbox"/> その他()	
(19)麻痺の状況 <input type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 軽度 <input checked="" type="checkbox"/> 中度 <input type="checkbox"/> 重度	麻痺の部位: <input checked="" type="checkbox"/> 左上肢 <input type="checkbox"/> 右上肢 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 左下肢 <input type="checkbox"/> 右下肢	(50)具体的内容 左片麻痺・左空間無視あり。車いす自走化。介助歩行可。	
(20)褥瘡の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 有り(部位:)	(21)皮膚疾患 <input type="checkbox"/> 無し <input checked="" type="checkbox"/> 有り(肛門周囲発赤)		
(22)視力 <input type="checkbox"/> 新聞等の字が見える <input checked="" type="checkbox"/> 目の前の物が見える <input type="checkbox"/> ほとんど見えない <input type="checkbox"/> 判断不能	(23)眼鏡 <input checked="" type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 有り		
(24)聴力 <input type="checkbox"/> 日常生活に支障なし <input checked="" type="checkbox"/> 大分聞こえにくい <input type="checkbox"/> ほとんど聞こえない <input type="checkbox"/> 判断不能	(25)補聴器 <input type="checkbox"/> 無し <input checked="" type="checkbox"/> 有り	補聴器は左側。	
(26)意思の伝達 <input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 時々可 <input type="checkbox"/> ほとんど不可 <input type="checkbox"/> 不可	(27)失語症 <input checked="" type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 不明		
(28)認知症症状 <input type="checkbox"/> 無し <input checked="" type="checkbox"/> 記憶障害 <input type="checkbox"/> 幻覚・妄想 <input type="checkbox"/> 昼夜逆転 <input type="checkbox"/> 介護への抵抗 <input type="checkbox"/> 抑うつ・不安 <input type="checkbox"/> 暴言・暴力 <input type="checkbox"/> 不潔行為 <input type="checkbox"/> 徘徊 <input type="checkbox"/> その他()	感情失禁あり。家に帰りたいと泣く。		
(29)睡眠の状態 <input type="checkbox"/> 良眠 <input checked="" type="checkbox"/> 睡眠障害()	(30)眠剤 <input type="checkbox"/> 無し <input checked="" type="checkbox"/> 時々 <input type="checkbox"/> 毎晩		
(31)起居動作 <input checked="" type="checkbox"/> 起き上がれる <input type="checkbox"/> 立ち上がれる <input checked="" type="checkbox"/> 寝たきり <input checked="" type="checkbox"/> 介助が必要 <input type="checkbox"/> 介助が必要	(32)移動 <input checked="" type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 杖無し <input type="checkbox"/> 歩行器 <input checked="" type="checkbox"/> 介助 <input checked="" type="checkbox"/> 杖 <input checked="" type="checkbox"/> 車椅子		
(33)摂取方法 <input checked="" type="checkbox"/> 経口 <input checked="" type="checkbox"/> 経管(方法: 胃ろう 内容: フォール 量: 800 所要時間: 2.5時間)			
(34)食形態 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 刻み <input checked="" type="checkbox"/> 嚥下障害食 <input type="checkbox"/> ミキサー	(35)水分トロミ <input type="checkbox"/> 無し <input checked="" type="checkbox"/> 有り	インスリン中。自己血糖測定器あり。	
(36)食動作 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input checked="" type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助	(37)食事制限 <input type="checkbox"/> 無し <input checked="" type="checkbox"/> 有り		
(38)口腔環境 <input type="checkbox"/> 良 <input checked="" type="checkbox"/> やや不良 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> 著しく不良	(39)義歯使用 <input type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 不良 <input checked="" type="checkbox"/> 不使用 <input type="checkbox"/> 義歯不要	口臭、口腔内残渣あり。	
(40)口腔ケア <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input checked="" type="checkbox"/> 全介助	(41)方法 <input checked="" type="checkbox"/> 歯ブラシ <input type="checkbox"/> うがい		
(42)排尿介助 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input checked="" type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助	(43)排尿能力 <input checked="" type="checkbox"/> 自排尿 <input type="checkbox"/> 間欠導尿 <input type="checkbox"/> 留置カテーテル	便秘。発赤があり褥瘡の再発に注意。	
(44)排便介助 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input checked="" type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助	(45)PTイレ使用 <input checked="" type="checkbox"/> 無し <input checked="" type="checkbox"/> 夜間 <input type="checkbox"/> 常時		
(47)衣服の着脱 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input checked="" type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助	(46)オムツ使用 <input type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 夜間 <input checked="" type="checkbox"/> 常時	抗血栓剤を内服しており、皮下出血がしやすい。手術する時は確認要	
(48)服薬管理 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input checked="" type="checkbox"/> 全介助	(49)薬の形状 <input checked="" type="checkbox"/> 錠剤 <input type="checkbox"/> 散剤 <input type="checkbox"/> 液剤 <input type="checkbox"/> その他()		
(51)介護上、特に注意すべき点等 誤嚥性肺炎歴あり。朝夕に胃ろうからの栄養剤を注入しているが、 昼は経口摂取でミキサー食合計1200カロリー。転倒と誤嚥性肺炎 再発に注意。薬剤は簡易懸濁法で胃ろうから投与。インスリン・血 糖測定は妻が施行、低血糖に注意。	(52)介護・看取りに関する本人・家族の意向等 できるだけ自宅で過ごしたい。また肺炎が起らないか心配。口からの摂取量を増やしたい。		

(53)本シートの記入者

所属: H居宅介護支援事業所	担当:	住所:
電話:	FAX:	Eメール:
(54)ケアプラン: <input type="checkbox"/> 作成済 <input type="checkbox"/> 未済		

千葉県地域生活連携シート使用上の留意点

1 千葉県地域生活連携シートの使用方法（入院時）

本シートは、居宅介護支援事業所等の担当介護支援専門員が、記入対象者である介護サービス利用者本人または家族の同意を得たうえで、利用者の身体機能等の情報について記入し、入院先の医療機関に送付するものです。

なお、居宅介護支援事業所が、利用者が入院してから7日以内に、入院先の医療機関に対し、本シートの送付等により利用者情報を提供した場合には、介護保険の医療連携加算の算定対象となります。

2 千葉県地域生活連携シートの使用方法（退院・退所時）

本シートは、居宅介護支援事業所等の担当介護支援専門員が、利用者の退院・退所の際、入院先の医療機関または入所先の施設の職員と面談し提供された利用者情報を記入しておき、居宅サービス計画の作成等に活用するためのものです。

なお、利用者の退院・退所に当たり、当該病院、診療所、地域密着型介護老人福祉施設または介護保険施設の職員と面談を行い、必要な情報提供を受けたうえで、居宅サービス計画を作成し、居宅サービスの利用に関する調整を行った場合には、介護保険の退院・退所加算の算定対象となります。

3 個人情報の取り扱いについて

本シートには、利用者等の身体機能等、数多くの個人情報が含まれておりますので、取り扱いには最大限の注意を払ってください。

本シートの記入及び送付に当たっては、必ず本人または家族の同意を得てください。

特に、本シートをFAXまたはEメール等で医療機関に送付する際は、一旦、利用者及び主介護者等の氏名の欄を空欄にして医療機関に送付した後、医療機関に電話連絡し、医療機関のほうで氏名を記入してもらう等の配慮が必要です。

また、本シートは、利用者本人及び家族等が見ることを前提に作成してください。そのため、記入する内容（特に認知症症状や既往歴等）については十分に注意してください。

4 千葉県地域生活連携シートの記入頻度等について

概ね半年に一度、利用者の在宅安定時の状況を本シートに記入し、保管しておくことが、利用者の入院時に迅速に対応できるという点から、望ましいと考えます。

また、月一回のモニタリングの際、本シートをモニタリングシートとして使用することもできます。

ただし、利用者の身体機能等に変化があった場合には、その都度、本シートに直近の情報を記入してください。

なお、認定調査結果や主治医意見書等を参考に本シートを記入する場合には、認定調査結果や主治医意見書等に記載されている利用者の身体機能等の情報と、直近の情報が異なる場合には、直近の情報を優先して記入してください。

5 家族等との連絡体制

利用者が入院した際、居宅介護支援事業所の介護支援専門員に対し、家族等から即時その旨の連絡がなされるよう、利用者及び家族等には日頃から本シートの趣旨を説明し、理解を得ておくことが必要です。

6 入院先の医療機関への送付について

利用者が入院した際、直ちに本シートを医療機関に持参または郵送、FAX、Eメール等により送付してください。

また、シートを送付した際は、居宅介護支援経過に、入院日、送付日及び送付先の医療機関等名称を必ず記録してください。

（記入例）

「平成22年4月1日△△病院に入院。平成22年4月2日△△病院に地域生活連携シートを送付し情報提供した」

なお、シートを送付する際の手段（郵送、FAXまたはEメール等）や、医療機関がシートを受領したか否かを確認する手段（電話、FAXまたはEメール等）については、地域の医療機関と事前に協議のうえ取り決めておくことが望ましいと考えます。

7 千葉県共用脳卒中地域医療連携パスとの関係

本シートは、千葉県共用脳卒中地域医療連携パスの中の「介護シート」として、脳卒中の患者が退院する際に、回復期医療機関等から提供されることもあります。介護シートは、脳卒中の再発に備え、上記と同様に概ね半年に一度記入しておくことが望ましいと考えます。

なお、介護シートは、本シートと記入項目が完全に一致しており、本シートから転記することが可能です。

千葉県共用脳卒中地域医療連携パス計画管理病院協議会名簿

(平成27年2月1日現在)

医療圏	施設名	郵便番号	住所
千葉(6)	国立病院機構千葉医療センター	260-8606	千葉市中央区椿森4-1-2
	千葉市立青葉病院	260-0852	千葉市中央区青葉町1273-2
	千葉大学医学部附属病院	260-8677	千葉市中央区亥鼻1-8-1
	千葉脳神経外科病院	263-0001	千葉市稲毛区長沼原町408
	千葉県救急医療センター	261-0012	千葉市美浜区磯辺3-32-1
	千葉メディカルセンター	260-0842	千葉市中央区南町1-7-1
東葛南部(7)	船橋市立医療センター	273-8588	船橋市金杉1-21-1
	谷津保健病院	275-0026	習志野市谷津4-6-16
	東京女子医科大学八千代医療センター	276-8524	八千代市大和田新田477-96
	国立国際医療研究センター国府台病院	272-8516	市川市国府台1-7-1
	東京歯科大学市川総合病院	272-8513	市川市菅野5-11-13
	順天堂大学医学部附属浦安病院	279-0021	浦安市富岡2-1-1
	行徳総合病院	272-0133	市川市行旅駅前1-12-6
	東京ベイ・浦安市川医療センター	279-0001	浦安市当代島3-4-32
	千葉県済生会習志野病院	275-8580	習志野市泉町1-1-1
	東葛北部(3)	国保松戸市立病院	271-8511
千葉西総合病院		270-2251	松戸市金ヶ作107-1
新東京病院		270-2232	松戸市和名ヶ谷1271
印旛(3)	成田赤十字病院	286-0041	成田市飯田町90-1
	東邦大学医療センター佐倉病院	285-8741	佐倉市下志津564-1
	日本医科大学千葉北総病院	270-1694	印西市鎌苅1715
香取海匝(1)	国保旭中央病院	289-2511	旭市イ1326
安房(1)	亀田総合病院	296-8602	鴨川市東町929
君津(1)	君津中央病院	292-8535	木更津市桜井1010
市原(3)	千葉県循環器病センター	290-0512	市原市鶴舞575
	千葉労災病院	290-0003	市原市辰巳台東2-16
	帝京大学ちば総合医療センター	299-0111	市原市姉崎3426-3

千葉県回復期リハビリテーション連携の会 施設リスト

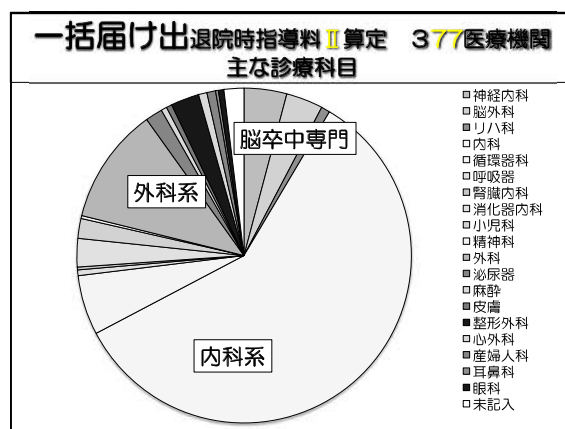
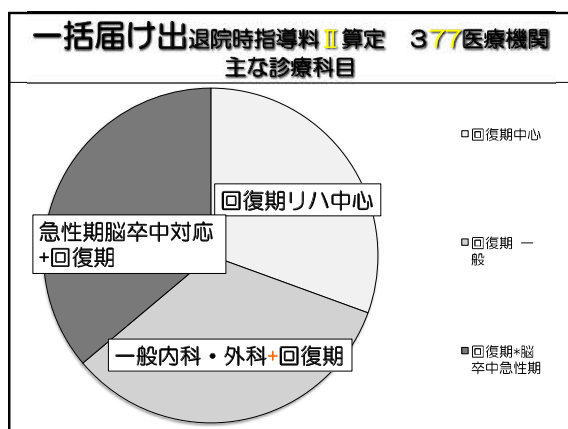
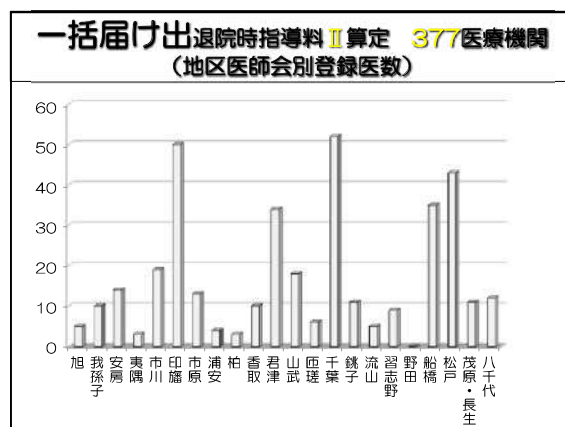
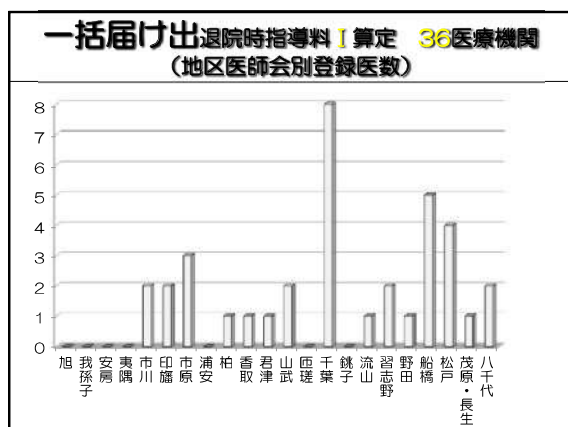
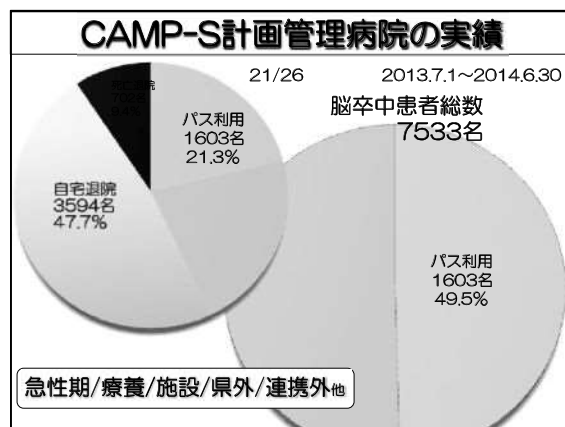
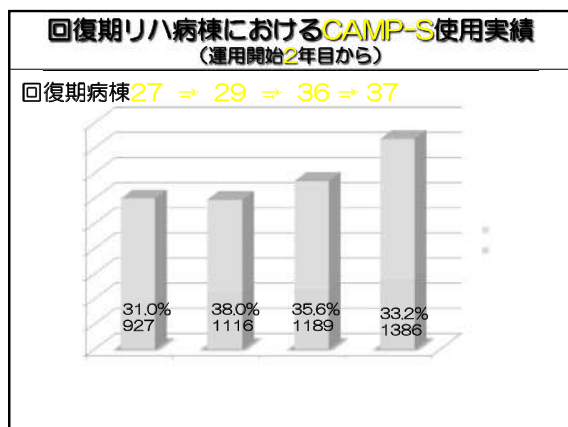
平成27年2月1日現在

市町村		施設名	市町村		施設名
千葉市稲毛区	1	富家千葉病院	我孫子市	25	メディカルプラザ平和台病院
千葉市中央区	2	柏戸病院	柏市	26	北柏リハビリ総合病院
	3	千葉みなとりハビリテーション病院		27	千葉・柏リハビリテーション病院
千葉市花見川区	4	千葉健生病院	流山市	28	東葛病院
千葉市緑区	5	おゆみの中央病院		29	流山中央病院
	6	千葉県千葉リハビリテーションセンター	野田市	30	野田病院
	7	千葉南病院	松戸市	31	旭神経内科リハビリテーション病院
千葉市若葉区	8	千葉中央メディカルセンター		32	五香病院
	9	みつわ台総合病院		33	東松戸病院
市川市	10	市川市リハビリテーション病院		34	松戸リハビリテーション病院
	11	大野中央病院	成田市	35	成田病院
	12	化学療法研究所附属病院	佐倉市	36	佐倉厚生園病院
習志野市	13	津田沼中央総合病院	八街市	37	長谷川病院
	14	東京湾岸リハビリテーション病院		38	八街総合病院
船橋市	15	下総病院	大網白里市	39	季美の森リハビリテーション病院
	16	セコメディック病院	山武郡九十九里町	40	九十九里病院
	17	千葉徳州会病院	山武郡芝山町	41	高根病院
	18	船橋市立リハビリテーション病院	茂原市	42	山之内病院
	19	船橋総合病院	鴨川市	43	亀田リハビリテーション病院
	20	船橋二和病院	館山市	44	館山病院
八千代市	21	新八千代病院	市原市	45	五井病院
	22	八千代リハビリテーション病院		46	白金整形外科病院
香取市	23	佐原中央病院		47	リハビリテーション病院さらしな
袖ヶ浦市	24	袖ヶ浦さつき台病院			

(順不同)

地域生活期担当医数
(二次保健医療圏・市町村・保健所・医師会別)

二次保健医療圏	市町村名	保健所	医師会	医師数
千葉	千葉市	千葉市保健所	千葉市医師会	51
東葛南部	市川市	市川健康福祉センター	市川市医師会	18
東葛南部	船橋市	船橋市保健所	船橋市医師会	37
東葛南部	習志野市	習志野健康福祉センター(保健所)	習志野市医師会	9
東葛南部	八千代市	習志野健康福祉センター(保健所)	八千代市医師会	10
東葛南部	鎌ヶ谷市	習志野健康福祉センター(保健所)	鎌ヶ谷市医師会	
東葛南部	浦安市	市川健康福祉センター	浦安市医師会	4
東葛北部	松戸市	松戸健康福祉センター(保健所)	松戸市医師会	44
東葛北部	野田市	野田健康福祉センター(保健所)	野田市医師会	
東葛北部	流山市	松戸健康福祉センター(保健所)	流山市医師会	5
東葛北部	我孫子市	松戸健康福祉センター(保健所)	我孫子市医師会	10
東葛北部	柏市	柏市保健所	柏市医師会	3
印旛	成田市	印旛健康福祉センター(保健所) 成田支所	印旛市郡医師会	11
印旛	佐倉市	印旛健康福祉センター(保健所)	印旛市郡医師会	19
印旛	四街道市	印旛健康福祉センター(保健所)	印旛市郡医師会	7
印旛	八街市	印旛健康福祉センター(保健所)	印旛市郡医師会	1
印旛	印西市	印旛健康福祉センター(保健所)	印旛市郡医師会	7
印旛	白井市	印旛健康福祉センター(保健所)	印旛市郡医師会	4
印旛	富里市	印旛健康福祉センター(保健所) 成田支所	印旛市郡医師会	
印旛	酒々井町	印旛健康福祉センター(保健所)	印旛市郡医師会	
印旛	栄町	印旛健康福祉センター(保健所)	印旛市郡医師会	2
香取海匝	銚子市	海匝健康福祉センター(保健所)	銚子市医師会	11
香取海匝	旭市	海匝健康福祉センター(保健所)	旭市医師会	5
香取海匝	匝瑳市	海匝健康福祉センター(保健所)	匝瑳市医師会	6
香取海匝	香取市	香取健康福祉センター(保健所)	香取郡市医師会	9
香取海匝	神崎町	香取健康福祉センター(保健所)	香取郡市医師会	
香取海匝	多古町	香取健康福祉センター(保健所)	香取郡市医師会	2
香取海匝	東庄町	香取健康福祉センター(保健所)	香取郡市医師会	
山武長生夷隅	茂原市	長生健康福祉センター(保健所)	茂原市長生郡医師会	5
山武長生夷隅	東金市	山武健康福祉センター(保健所)	山武郡市医師会	6
山武長生夷隅	勝浦市	夷隅健康福祉センター(保健所)	夷隅医師会	
山武長生夷隅	山武市	山武健康福祉センター(保健所)	山武郡市医師会	6
山武長生夷隅	いすみ市	夷隅健康福祉センター(保健所)	夷隅医師会	3
山武長生夷隅	大網白里市	山武健康福祉センター(保健所)	山武郡市医師会	5
山武長生夷隅	九十九里町	山武健康福祉センター(保健所)	山武郡市医師会	1
山武長生夷隅	芝山町	山武健康福祉センター(保健所)	山武郡市医師会	
山武長生夷隅	横芝光町	山武健康福祉センター(保健所)	山武郡市医師会	1
山武長生夷隅	一宮町	長生健康福祉センター(保健所)	茂原市長生郡医師会	2
山武長生夷隅	睦沢町	長生健康福祉センター(保健所)	茂原市長生郡医師会	1
山武長生夷隅	長生村	長生健康福祉センター(保健所)	茂原市長生郡医師会	
山武長生夷隅	白子町	長生健康福祉センター(保健所)	茂原市長生郡医師会	2
山武長生夷隅	長柄町	長生健康福祉センター(保健所)	茂原市長生郡医師会	1
山武長生夷隅	長南町	長生健康福祉センター(保健所)	茂原市長生郡医師会	
山武長生夷隅	大多喜町	夷隅健康福祉センター(保健所)	夷隅医師会	
山武長生夷隅	御宿町	夷隅健康福祉センター(保健所)	夷隅医師会	
安房	館山市	安房健康福祉センター(保健所)	安房医師会	3
安房	鴨川市	安房健康福祉センター(保健所)	安房医師会	3
安房	南房総市	安房健康福祉センター(保健所)	安房医師会	6
安房	鋸南町	安房健康福祉センター(保健所)	安房医師会	2
君津	木更津市	君津健康福祉センター(保健所)	君津木更津医師会	13
君津	君津市	君津健康福祉センター(保健所)	君津木更津医師会	6
君津	富津市	君津健康福祉センター(保健所)	君津木更津医師会	9
君津	袖ヶ浦市	君津健康福祉センター(保健所)	君津木更津医師会	6
市原	市原市	市原健康福祉センター(保健所)	市原市医師会	14



千葉県脳卒中連携の会 CAMP-S 参加証

第6回

千葉県脳卒中連携の会 CAMP-S Chiba Alliance Medical Path-Stroke

所属：

職種：

氏名：

※氏名等を記入するか来場時のネームシールを添付して保管ください。

【開催要項】

メインテーマ：「退院後をささえてこそ ～医療連携から地域連携へ～」

日時 平成27年2月8日（日）10：00～16：30（受付9：30～）

場所 アパホテル&リゾート東京ベイ幕張（幕張ホール2階）

〒261-0021 千葉市美浜区ひび野 2-3

プログラム：

【第一部】各分科会

医療・福祉職とケアマネジャー対象の研修会／薬剤師／看護職／栄養士／リハビリテーション
医療ソーシャルワーカー／実践！模擬多職種退院カンファレンス（症例検討会）

【第二部】講演 1、2 特別講演 「共用連携パスから地域包括ケアを見据えて」

[講演 1] (13：10～13：35)

「共用連携パスから地域連携の充実へ」

千葉県救急医療センター／古口徳雄

[講演 2] (13：35～14：00)

千葉県での退院支援事業と脳 卒中共用パスの運用の現状について
～アンケート結果中間報告～

千葉県医師会理事／松岡かおり

[特別講演] (14：00～15：25)

「地域包括ケアシステムにおけるリハビリテーションの役割」

日本リハビリテーション病院・施設協会 副会長

医療法人真正会 霞ヶ関南病院 理事長／斉藤正身

【分科会報告】

(1) 薬剤師分科会報告 千葉県千葉リハビリテーションセンター／大野幸夫

(2) 看護職分科会報告 千葉脳神経外科病院／宮下京子

(3) 栄養士分科会報告 新八千代病院／大嶋晶子

(4) リハビリテーション職分科会報告 東京湾岸リハビリテーション病院／田口 崇

(5) 医療ソーシャルワーカー職分科会報告 佐倉厚生園病院／倉石智徳

【総括】

千葉県共用地域医療連携パス脳卒中ワーキンググループ座長

千葉県脳卒中連携意見交換会代表

千葉県救急医療センター／古口徳雄

参加証の保管と出席者名簿作成のお願い

千葉県共用地域医療連携パス（脳卒中）を使用し、「地域連携診療計画管理料及び地域連携診療計画退院時指導料(I)及び(II)に関する施設基準」（平成 22 年厚労省告示第 73 号）に基づき、診療報酬を算定する保険医療機関におきましては、本参加証を大切に保管していただくとともに、それら参加証をとりまとめ施設ごとに出席者名簿の作成をお願いいたします。

また、連携先のすべての保険医療機関に対し、当該出席者名簿を送付していただき、連携する保険医療機関相互で本会の出席者を把握できるようにあわせてお願いいたします。

◆千葉県共用脳卒中地域医療連携パス計画管理病院協議会

主な活動

本協議会は、参加している県内の各急性期病院が協力して、千葉県共用脳卒中医療連携パスを用いた脳卒中地域連携の推進のための情報収集および提供や千葉県共用脳卒中医療連携パスにかかる連携会議の開催およびその支援を行います。

1. 千葉県共用脳卒中医療連携パスを用いた脳卒中地域連携の推進のための情報収集および提供
2. 千葉県共用脳卒中医療連携パスにかかる連携会議の開催およびその支援
3. その他、本会の目的を達成する為に必要な事業

平成 27 年 2 月 1 日現在協議会名簿

国立病院機構千葉医療センター	東京歯科大学市川総合病院	日本医科大学千葉北総病院
千葉市立青葉病院	順天堂大学医学部附属浦安病院	国保旭中央病院
千葉大学医学部附属病院	行徳総合病院	亀田総合病院
千葉脳神経外科病院	東京ベイ・浦安市川医療センター	君津中央病院
千葉県救急医療センター	千葉県済生会習志野病院	千葉県循環器病センター
千葉メディカルセンター	国保松戸市立病院	千葉労災病院
船橋市立医療センター	千葉西総合病院	帝京大学ちば総合医療センター
谷津保健病院	新東京病院	
東京女子医科大学八千代医療センター	成田赤十字病院	
国立国際医療研究センター国府台病院	東邦大学医療センター佐倉病院	

◆千葉県回復期リハビリテーション連携の会

平成 27 年 2 月 1 日現在施設リスト

富家千葉病院	船橋二和病院	季美の森リハビリテーション病院
柏戸病院	新八千代病院	九十九里病院
千葉みなとリハビリテーション病院	八千代リハビリテーション病院	高根病院
千葉健生病院	佐原中央病院	山之内病院
おゆみの中央病院	袖ヶ浦さつき台病院	亀田リハビリテーション病院
千葉県千葉リハビリテーションセンター	メディカルプラザ平和台病院	館山病院
千葉南病院	北柏リハビリ総合病院	五井病院
千葉中央メディカルセンター	千葉・柏リハビリテーション病院	白金整形外科病院
みつわ台総合病院	東葛病院	リハビリテーション病院さらしな
市川市リハビリテーション病院	流山中央病院	
大野中央病院	野田病院	
化学療法研究所付属病院	旭神経内科リハビリテーション病院	
津田沼中央総合病院	五香病院	
東京湾岸リハビリテーション病院	東松戸病院	
下総病院	松戸リハビリテーション病院	
セコメディック病院	成田病院	
千葉徳洲会病院	佐倉厚生園病院	
船橋市立リハビリテーション病院	長谷川病院	
船橋総合病院	八街総合病院	

千葉県
千葉県医師会

千葉県脳卒中連携の会

<http://www.renkei-path.org/>

千葉県共用地域医療連携パスのさらに詳しい情報は、

